
サンテックパワージャパン株式会社のガラス建材型太陽光発電モジュールが 「味の素スタジアム」の屋根に採用

サンテックパワージャパン株式会社(本社 東京都新宿区 社長 山本豊 以下サンテックパワー)は、株式会社東京スタジアム(本社 東京都調布市 社長 山本洋一)が運営する東京都調布市の「味の素スタジアム」にガラス建材型太陽光発電モジュール「LightThru™」を納入いたしました。

このたび採用された太陽光発電モジュールは、ガラス建材型の単結晶タイプ「LightThru™」1,540枚で、総設置量は219kWとなります。スタジアムの南サイドスタンド側を覆うように設置されており、屋根の役割を担いながら、太陽光発電として機能します。モジュールは2枚のガラスの間に太陽光発電セルを挟んだ構造で、セルとセルの隙間から光を取り込み屋根の下でも自然光の届く明るい空間を実現しています。

「味の素スタジアム」は2013年に開催される「スポーツ祭東京2013」に向けて、環境対策とユニバーサルデザイン実現のためのリニューアル工事の検討を2008年秋より開始していました。工事は競技場内部の整備をはじめ、太陽光発電システムの導入、壁面緑化などの環境対策も行われ、2012年3月に竣工しました。リニューアル工事は、株式会社日本設計が設計を担当、大成建設株式会社が元請となり、太陽光発電モジュールの設置に関しては、三協立山株式会社三協アルミ社が施工、ガラス建材型太陽光発電モジュールはサンテックパワージャパン株式会社が設計、長野テクニカルサポートセンター内のカスタムモジュール生産ラインで生産し納入いたしました。

また、サンテックパワーは、2012年3月より、「味の素スタジアム」の広告看板のスポンサーを務めています。「味の素スタジアム」は2013年9月28日から10月14日に開催される第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京2013」の競技会場にもなっており、サンテックパワーは、11月以降に設置されるカウントダウンボードに太陽光発電モジュールを提供する予定です。サンテックパワーはこれからも、様々なスポーツ振興への貢献に力を入れてまいります。

<本件のお問合せ先>

サンテックパワージャパン株式会社

マーケティング本部 広報担当 三澤・北原 03-3342-3892

2012年9月28日
サンテックパワージャパン株式会社

＜サンテックパワーホールディングス、及びサンテックパワージャパン株式会社について＞

サンテックパワー社は2001年に中国無錫で設立され、2005年にニューヨーク証券取引所に株式を公開しました。2006年に日本市場の開拓とBIPV（建材一体型太陽電池）のノウハウを共有するために、太陽光発電モジュール製造販売で長年の実績を持つ株式会社MSKを傘下に収め、2009年6月にサンテックパワージャパン株式会社として発足させました。2008年末に太陽光発電セルとモジュールを合わせ1GWの生産能力を世界で初めて達成、2010、2011年度に太陽光発電モジュールの生産量※1・出荷量※2で2年連続世界第1位となり、また2011年10月に累計設置量5GWを世界で初めて達成しました。市場規模の大きいヨーロッパ各国、米国、アジア中近東で高い評価を得ており、各地で占有率第1位※3を獲得しています。2012年8月時点での累計設置量は約7GWに到達しています。

※ 1 (独)PHOTON International 2011年、2012年3月号による

※ 2 (英)IMS リサーチ 2011年4月、2012年2月による

※ 3 サンテックパワー社調べによる

<味の素スタジアム>

(写真)

